

2019年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト

地域の課題解決 入門講座 開催レポート

2019年10月31日

認定 NPO 法人サービスグラント

1. はじめに

町会・自治会は地域住民の互助のシステムとして中核的な役割を担っていますが、同時に高齢化や加入率の低下等様々な問題を抱えていると言われていています。一方で、「いろんな世代が集えるような場づくりに取り組みたい」、「新しく引っ越してきた人も気軽に関わられるようなまちにしたい」など、顔の見える繋がりづくりや、幅広い住民の関わるまちづくりに取り組む町会・自治会もあります。地域の課題解決に向けて積極的にチャレンジを行う町会・自治会を対象に、仕事の経験やスキルを活かした社会貢献活動「プロボノ」で会の活動基盤強化を応援する『2019年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト』の実施にあたり、入門講座を実施しました。入門講座では、自団体の課題の棚卸しと整理を行う「課題整理ワークショップ」を同時開催しました。

2. 実施概要

○開催日時と開催場所

- ・ 第1回 2019年 4月 17日(水) 13:30-16:30 (13:15開場)
新宿NSビル 30階 スカイカンファレンス ルーム5 (新宿区西新宿2丁目4番1号)
- ・ 第2回 2019年 5月 18日(土) 13:30-16:30 (13:15開場)
新宿NSビル 3階 3-J会議室 (新宿区西新宿2丁目4番1号)
- ・ 第3回 2019年 6月 19日(水) 13:30-16:30 (13:15開場)
新宿NSビル 3階 3-J会議室 (新宿区西新宿2丁目4番1号)

○開催スケジュールとプログラム内容

内容	時間
1. 本日の流れ、開会挨拶	10分
2. 地域の課題解決プロボノプロジェクトについて	20分
3. ゲストトーク	45分
4. 休憩	10分
5. 課題整理ワークショップ	70分
6. 本年度の支援プログラムについて	20分
7. まとめ、閉会	5分

○事前の告知方法

- ・ 東京都を通じたプレスリリース
- ・ 区市町村担当窓口を通じたチラシ配布

○応募の受付方法

- ・ 東京都生活文化局宛に所定の申込用紙をメールまたはFAXにて申し込み

3. 参加人数

	団体数		人数		ファシリテーター
	申込	参加	申込	参加	
4月17日(水)	17	15	26	22	4
5月18日(土)	15	12	17	14	5
6月19日(水)	36	34	50	49	8
合計	68	61	93	85	17

*ファシリテーターはプロボノワーカーとサービスグラントスタッフが行いました

4. 当日の流れ

○地域の課題解決プロボノプロジェクトについて

プロボノの語源から本プロジェクトの概要、支援内容、支援申し込みの流れまでを参加町会の皆様に説明しました。

【写真】地域の課題解決プロボノプロジェクトについての説明



○プロボノ活用事例紹介

過年度の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」においてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

4月17日（水）ゲスト

- ・館ヶ丘自治会（八王子市） 村上 浩一 氏
- ・東郷町会（中野区） 会長 熊谷 英男 氏

5月18日（土）ゲスト

- ・加賀五四自治会（板橋区） 会長 竹澤 喜孝 氏
- ・東中野五丁目小滝町会（中野区） 会長 岸 哲也 氏

6月19日（水）ゲスト

- ・プラウドシティ梅島自治会（足立区） 会長 加藤 賢一 氏
- ・茂呂町会（板橋区） 大野 泰彦 氏

【写真】 ゲストトークの様子



○課題整理ワークショップ

ワークショップの目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題を挙げ整理しました。

・課題整理ワークショップの目的

団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。

プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

・課題整理ワークショップの全体構成

ワーク① 組織課題の棚卸・整理

- ステップ①-1 課題の棚卸
- ステップ①-2 課題の共有
- ステップ①-3 中長期的な目標の設定
- ステップ①-4 課題の整理
- ステップ①-5 結果の共有

ワーク② 組織課題の解決策の検討

- ステップ②-1 「重要度が高い」課題の解決策の考案
- ステップ②-2 「重要度が高い」課題の解決策の分類
- ステップ②-3 結果の共有

・ワークショップの内容

課題整理ワークショップでは、付箋・ペン・模造紙を主に使用します。模造紙は団体ごとに1枚ずつ用意します。まず付箋には、団体として困っていることや解決したいことなどの課題を1枚に1つずつ記入します。こうすることにより、漠然としていた課題や、日々の業務によって忙殺されていた悩みが整理・棚卸されるとともに、課題が可視化されることにより、解決策の検討に進むことができます。

次に、団体の「こんな町会・自治会の姿がよいのではないか」という中長期的な目標を2~3件程度、模造紙に箇条書きで記入します。具体的な目標を記入することにより、多くの課題の中から闇雲に取り組むのではなく、どの課題解決から着手する必要があるか、緊急度と重要度の四象限の中で優先順位を検討することができます。また、重要度の高い課題について「それぞれに、どのような解決策が考えられるか」「全体として、どのような解決策が有効と考えられるか」を、書き出しました。

さらに、書き出した課題の解決策について「自前で解決できること」「自前では解決できないけど、「お金」があれば解決できること」「自前では解決できないけど、「スキル」があれば解決できること」に分類しました。分類ごとに色分けしたシールを貼ることで、重要度の高い課題とその解決策、解決にあたって必要となるリソースやプロボノ活用の可能性が明確になりました。

【写真】 課題の棚卸に取り組む参加者



【写真】 課題を重要度・緊急度に基づき分類し、重要度の高い課題の解決策を考案



【写真】 解決策の分類、参加者同士で共有



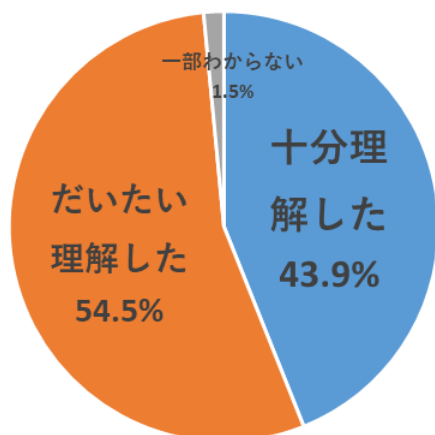
5. 参加者アンケート

○件数

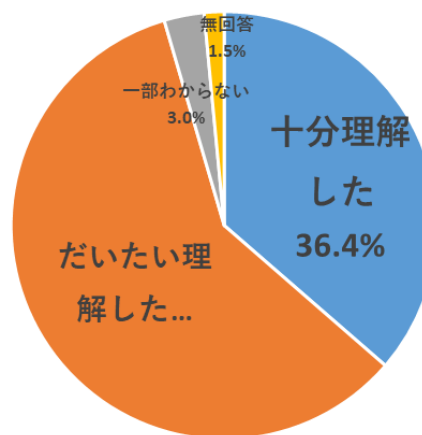
回答者数 66名（回収率 77.6%）、56団体（回収率 91.8%）

○結果(アンケート集計結果より一部抜粋)

Q: 「事業全体概要」の説明内容について

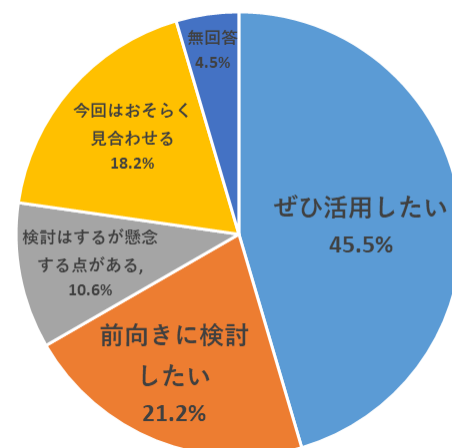


Q: 「支援プログラム」の説明内容について



Q: 説明をお聞きになり、プロボノ支援を活用したいと思いましたか？

内容	人数	%	団体
ぜひ活用したい	30	45.5%	25
前向きに検討したい	14	21.2%	11
検討はするが懸念する点がある	7	10.6%	7
今回はおそらく見合わせる	12	18.2%	11
無回答	3	4.5%	2
計	66		56



Q: 「ぜひ活用したい」を選んだ方（30名、25団体）に伺いました。検討されているコースはどちらでしょうか？（複数回答可）

内容	人数
伴走支援コース・情報発信（Facebook・ホームページ）	6
伴走支援コース・情報発信（チラシ・パンフレット）	6
伴走支援コース・ニーズ調査	5
個別支援コース	8
コースは決めていない	7
無回答	3
計	35

以上

認定 NPO 法人 サービスグラント
代表理事 嵯峨 生馬
事務局 小林 智穂子、宮坂 奈々、中川 寛允

【連絡先】

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷一丁目 2 番 10 号 中里ビル 4F
電話番号: 03-6419-4021
電子メール: mytown@servicegrant.or.jp